

アジール じんげん asile

pp.1-2 巻頭対談

学生と一緒に キャリアを考える

秋冬号
2022
大谷大学広報誌

pp.3-4 特集

在学生インタビュー
就職活動・インターンシップのあれこれ

学生と一緒に キャリアを考える



学生部長 ふじえだ しん 藤枝 真	だいが 眞央 醍醐 眞央	地野 達也 のの たつや 地野 達也
文学部 哲学科 教授	文学部 国際文化学科 第3学年	文学部 仏教文化学科 2006年度卒業

大谷大学のキャリアサポートは、単なる就職活動の支援ではありません。「キャリア」という言葉は、学生生活の全経験のことを指し、学問も課外活動もインターンシップも全て含めてキャリアと呼んでいます。卒業後の自分を見据えるとき、一連の経験を通して何かが見えてくるはず。今回集まったのは、学生部長の藤枝教授と、本学の卒業生で現在は人事に携わっている地野さん、在学生の醍醐さん。これから始まる就職活動に向けて、醍醐さんの疑問や不安について話し合いました。

学生一人ひとりに目配りを

地野 キャリアセンターは、とても入りやすい場所にありますね。
藤枝 教室棟である慶園館の1階で、学生ロビー（ナイール・プラザ）にセミオープンスタイルで設けられています。教室に行くときも、友だちと待ち合わせするときに、コピーを買いに行くときも、キャリアセンターの前を通ります。センターの職員たちも、毎日学生の姿に目を配り、一人ひとりに声をかけています。

醍醐 「おはよう」や「いつでもおいで」と声をかけてくださるので、相談しやすい雰囲気があります。

藤枝 醍醐さんのように就職活動に一生懸命取り組もうという学生もいれば、一方ではなかなか活動に踏み出せない学生もいます。キャリアセンターが目届きにくい場所にあると、さらに足が遠のきますが、「学生生活の全部がキャリアだ」ということを目に見える形にしたキャリアパス設計をしています。

地野 実は私はなかなか就職活動をスタートできずにいた学生でした。それがある日、第4学年の夏ごろ、学内放送で呼び出しを受けたのです。

藤枝 何かしてかしたのかと不安になりますね（笑）

地野 私もそう思いましたが、それはキャリアセンターからの呼び出しで、その日、合同説明会があるから行くように、と。
藤枝 当時は今と違って、インターネット上

の情報提供システムのようなものがないので、きっと今なら大学に来ているはずという時間帯に放送したのでしよう。

地野 「まずは一度、さまざまな企業を見て、本業に何が、本当に見てたいのかをしっかり考えたらどうか」「面白いから行っておいで」と言われて、その日に行きました。そこから興味を湧いて就職活動を始め、スタートの遅かった私にもすっかりサポートしてくださり、今の会社と出会いました。現在は、企業側として大谷大学の学内企業説明会に参加させていただく機会もあります。一貫して感じるのは学生一人ひとりをしっかり見てくださっているということですね。



藤枝 醍醐さんは今どのような活動をしていますか？

もどかしいのは「みんな同じ」

醍醐 ちょうど今、インターンシップの準備をしていてキャリアセンターではレポートの書き方などを丁寧に指導いただいています。

藤枝 インターンシップ先で、どのような就業体験をするか具体的に決まっていますか？

醍醐 はい、ホテルの料飲部と客室部で10日間実習をさせていただきます。

地野 醍醐さんは国際文化学科なので、やはり英語を生かした仕事をめざしているのですか？

醍醐 はい。昨年留学する予定だったのですが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で行けませんでした。京都の街に出て、外国人観光客の方と交流するワークショップもまだ一度しかできておらず、不安を感じています。

藤枝 入学した最初の前期の授業が、対面ではなくオンラインだった学年ですね。大学で学ぶ実感がはっきりと得られないまま、学年が上がっていったことで違和感をもつ学生は少なくありません。

地野 本当にもどかしい時代ですね。説明会もオンラインで行う企業も多いでしょう。緊急事態宣言が出た際は、わが社もオンラインで面接を行いました。車を販売する会社のため、人と人とのつながりを大切にしているので、現在は感染対策を講じたうえで、対面での実施を心がけています。



醍醐 オンラインでの説明会では、会社の雰囲気やわかりづらくグループディスカッションも、どう立ち回ればよいかわんています。

藤枝 まったくその通りだと思います。画面越しだと、どう言葉を尽くして話しても、薄い皮一枚がはがれない、そういう実感のなさがありません。ただそれは、みんな同じ、という言い方もできます。醍醐さんだけじゃなくて、みんなその薄皮がはがせずに苦戦している。企業側も同じじゃないかな。

地野 おっしゃる通りです。だからこそできる限り対面につながる機会を持ちたいです。

自分のキャリアを伝えるには

醍醐 「大学時代に力を入れたことは何ですか？」と質問をされたら、どう答えてよいかわかりません。

藤枝 確かに、何をすることも行動制限のある現代だと難しい質問ですね。京都の街に出て行うワークショップは一度できたのですよね？ それほどのようなワークショップでしたか？

醍醐 「実践文化演習」という授業で、京都駅に行き、外国人観光客の方に日本文化についてインタビューをしました。

地野 英語で？ 突撃インタビューですか？

醍醐 はい。三人一組で、インタビュー係撮影、記録係を分担して行いました。役割はローテーションで交代しますが、外国人観光客らしき方を見つけたら、三人で全力で走って追いかけて声をかけました。

地野 楽しそう！ インタビューでは何を質問したのですか？
醍醐 私たちの班が行ったのは「けん玉」と「福笑い」の知名度を調査するためのインタビューです。実物を持って行き、実際に遊んでもらいました。



藤枝 面白いセレクトですね！ どのようなことが聞きましたか？

醍醐 自分たちの国にも似た遊びがあるという話を、これはお土産にいいですね、という声を聞くことができました。

藤枝 その経験は、制限された活動の中でも、よい実践の機会を得られたのではないかと思います。

醍醐 本当ですね。英語で直接会話できまし



たし、日本文化の良さを学ぶ機会にもなりました。

藤枝 就職活動では、たとえば、なぜ、けん玉と福笑いを選んだのか、インタビューから何が得られたのか、研究の意味や方法、そこからの学びを具体的に話せると、醍醐さんが国際文化学科でのようなことを学んできたのか、深めてきたかが、聞いている側に伝わると思えます。

地野 グループで課題に取り組んだときに心がけたことや、その中で自分が力を入れたことなどもアピールポイントになりますよ。

醍醐 たった一度の活動だと感じていたのに、視点を変えるだけで内容が深まった気がします。

藤枝 自分が書いたり発したりする言葉は、自分にとっては明確に思えるかもしれませんが、ときに説明が抜けているか、論理が飛躍したりするところもあります。また、コミュニケーションは自分が言いたいことを元氣よく言えばよいというものではありません。相手がどう受け取るかを考えて、エントリーシートを書いたり、話したりできるように、一緒に準備していきましょう。

就職活動・インターンシップのあれこれ

内定が決まった学生3名に直撃インタビュー！
就職活動やインターンシップの経験、後輩へのアドバイスについて話してくれました。

キャリアセンターのサポートで役立ったことは？

履歴書作成や面接練習のセミナーです。一人で考えるよりも、実際にどれかと話したり自分の考えを口に出したりすることで、新たな気づきや発見を得ることができました。

どのような業種・企業を希望していた？

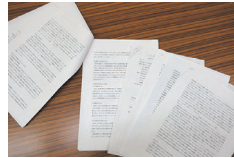
地元や、家族・友人など大切な人のために行動できる環境であるかを重視し、金融系や小売系を希望していました。人とのつながりを重視している企業に内定をいただくことができました。

インターンシップで得たことは？

参加したインターンシップは全てZoomでの開催。画面越しならではの話し方や立ち振る舞いのコツを掴むことができたため、オンライン面接に役立ちました。また担当者の方とコミュニケーションを取る機会が豊富で、企業側が何を重視しているのかがよく理解できました。

就職活動で大切にしていたことは？

自己分析や企業研究をする際、ただ思い浮かべるだけではなく、文章化することです。また、面接の質問と自分の回答は、反省点をふまえて全て記録。いつでも見返せるだけでなく、記録と実践を繰り返すことで、次の本番で応用できるようになりました。



社会学部コミュニティデザイン学科 第4学年
中根 智也

後輩へのアドバイス

何事も早めに、自分のできることから始めましょう！不安なことがたくさんあると思いますが、一人で悩まずだれかに相談することが大事です。そこでつながった人達は、就職活動を進めるうえで心の支えになってくれると思います。

どのような企業に内定した？

希望していた観光系の企業から内定をいただきました。歴史学科で学ぶ中で、歴史や文化は人に知られ伝えられることで未来につなげていくものと感じました。同時に旅行や観光が大きな力を持つと考えています。

キャリアセンターはどう活用した？

書類の送り方や送り状の文面など些細なことでも相談しました。また、履歴書作成や面接で何をアピールすべきか不安を感じていた自分自身のことについて、何度も相談に乗っていただき、自信につなげることができました。

インターンシップではどのようなことを経験した？

大学コンソーシアム京都のインターンシップに参加しました。パブリックコースを選択し、社会で大切になる人との関わり方、コミュニケーションの取り方について、経験することができました。

就職活動で大切なことは？

私よりもっと大切にしていたのは、自分の軸がぶれないようにすることです。希望する業種・企業への強い思いがあったからこそ、最後まで諦めずに臨むことができました。



文学部歴史学科 第4学年
田中 楓



就職活動の予定で埋まったスケジュール帳

企業に内定した？

社会貢献、地域貢献ができるか、自分の好きなものや関われるかを軸に考えていました。地元関西への社会貢献と私の好きな関わる事ができると感じた企業から内定をいただきました。

面接のポイントは？

自己アピールを通して、いかに自分を知らせてもらい、企業にとって必要な存在になるかアピールすることが大事です。まずは、自分の強みを知るため、日頃から「私ってどんな人物？」と身近な人に聞きまわることをおすすめです。

キャリアセンターのサポートで役立ったことは？

履歴書を作成する際に、何度も相談に乗ってもらいました。一人で考えこんでしんどくなった際に、話を聞いてもらえる場所だったので、最後まで落ち着いて、投げ出さずに就職活動をすることができました。

就職活動でのモットーは？

大学新卒の就職活動は一生に一度！一つの業界に絞るのではなく、広い視野をもって興味のある業種、業界を受けることでした。

後輩へのアドバイス

就職活動では、まわりに置いて行かれるのではと焦り「どの会社でもいいから内定をもらえたらいい」といった考えになってしまうこともあります。ですが、あなた自身の人生なので自分と向き合いしっかりと考えてください。就職活動は早く終わることが全てではありません。自分自身がこの会社で働きたい、貢献したいと思える企業を探してみてください。



社会学部現代社会学科 第4学年
奥 航太郎

モチベーションを上げる方法

お気に入りの音楽を聞くこと！おすすめはONE OK ROCKの「キミシダイ列車」です！就職活動で心の支えになっていた曲です。

2022年3月29日(火)
インド政府から
「仏教学振興賞」を受賞

サンジェイ・クマール・ヴァルマ駐日インド大使が本学に来学され、仏教学の推進に貢献した功績から「仏教学振興賞 Award for Promotion of Buddhist Studies」が本学に授与されました。

仏教学振興賞はインド政府の「インド文化交流評議会（ICCB）」が、国籍・人種にかかわらず、仏教学の振興に顕著な功績のあった個人・団体を表彰することを目的として設立されたものです。インド政府によって構成される審査委員会が全世界から毎年1件のみ授与する国際的な賞であり、第1回目として大谷大学が受賞しました。

本学とインド共和国との交流は、1917(大正6)年に詩人ラヒンドラナート・タゴール氏が真宗大谷派(東本願寺)に訪問され、南条文雄学長(当時)と会談したこと、1958(昭和33)年に初代大統領プラサド氏が本学に来訪されたこと等に始まります。近年では、本学図書館における仏教に関する数々の貴重資料の所蔵・タイ王国から寄贈されたパリー語貝葉写本の研究や海外の大学との共同研究プロジェクトを推進しています。これらのインド学・仏教学の国際的な研究活動はインドとの長年にわたる交流やインド文化への取り組みが、仏教振興への総合的な貢献であると高く評価され、この度の受賞に至りました。

2022年3月22日(火)
京都府立医科大学と
社会貢献における
包括連携協定を締結

大谷大学と京都府立医科大学は、両大学の強みを生かした社会貢献における包括協定を締結しました。本協定は、3月22日付で京都府立医科大学において調印式を行い、両大学の社会貢献における連携のあり方を定め、地域社会の発展に寄与することを目的としたものです。

主な連携事業

- 1 医療環境下における教育ならびに保育等の改善に関すること
- 2 共生的価値と歴史景観による安らぎを与える地域空間の創生に関すること
- 3 医療ならびに教育の両分野を相互に理解し貢献できる人間の育成に関すること
- 4 教職員ならびに学生の相互交流に関すること

左から 京都府立医科大学 竹中洋学長、大谷大学 木越康前学長

2022年4月1日(金)
学内書店丸善キャンパス
ショップがオープン

2022年度より、学内書店として丸善キャンパスショップがオープンしました。大学の授業に必要な教科書だけでなく、各学部・学科の学びに関わる専門書が豊富です。書店スタッフおすすめの必読書も取りそろえています。学生生活で必要となる文具も販売されており、季節ごとにおすすめの商品が並びます。学生、教職員の皆さんぜひご利用ください。

2022年6月24日(金)
国際文化学科
スミザースゼミ生が
京都駅で外国人観光客に
インタビュー

国際学部国際文化学科英語コミュニケーションコースのスミザース准教授のゼミ生が、京都駅で外国人観光客の方々に英語でインタビュー活動を行いました。

本活動はインバンド再開にあたり行われた活動で、学生たちはグループに分かれ、日本文化について英語で質問しました。約20名に協力いただき、実践的に英語を使ってコミュニケーションを図ることができました。

2022年度春学期大会結果(2022.8.1時点)

Club Information

空手道部

- 第43回全東京都空手道選手権大会
- 一般男子形(段外)優勝
- 河合翔平(教育学部教育学科第2学年)
- 一般女子形優勝
- 勝島菜生(教育学部教育学科第2学年)
- 一般男子組手(段外)準優勝
- 喜多洋斗(教育学部教育学科第2学年)
- 一般男子形(段内)3位
- 阪井武蔵(社会学部現代社会学科第4学年)

硬式野球部

- 令和4年度京滋学生野球連盟春季リーグ戦
- 1位(6位・1部残留)
- 「ベストナイン」
- 下谷達也(文学部 真宗史学科第2学年)
- 遠藤雄斗(社会学部 現代社会学科第3学年)
- 新人賞

陸上競技部

- 第2回大阪体育大学競技会
- 男子三段跳3位
- 中西漣(文学部 歴史学科第2学年)

剣道部

- 令和4年度第64回京滋学生剣道大会
- 男子個人2段以下部 第3位
- 梅田拓実(教育学部教育学科第2学年)

バドミントン部

- 関西学生バドミントン選手権大会
- (男子シングルスB)
- 沼田慧和(文学部 文芸科第1学年)
- ベスト16
- 土居宗(文学部 歴史学科第1学年)
- 【男子ダブルスB】
- ベスト16
- 土居宗(文学部 歴史学科第1学年)
- 沼田慧和(文学部 文芸科第1学年)

スポーツチャンプバラ同好会

- フナ人大会
- 小山航大(文学部 歴史学科第1学年)

※学年は大会時のものです

2022年6月24日(金)
国際文化学科
スミザースゼミ生が
京都駅で外国人観光客に
インタビュー

国際学部国際文化学科英語コミュニケーションコースのスミザース准教授のゼミ生が、京都駅で外国人観光客の方々に英語でインタビュー活動を行いました。

本活動はインバンド再開にあたり行われた活動で、学生たちはグループに分かれ、日本文化について英語で質問しました。約20名に協力いただき、実践的に英語を使ってコミュニケーションを図ることができました。

2022年4月1日(金)
学内書店丸善キャンパス
ショップがオープン

2022年度より、学内書店として丸善キャンパスショップがオープンしました。大学の授業に必要な教科書だけでなく、各学部・学科の学びに関わる専門書が豊富です。書店スタッフおすすめの必読書も取りそろえています。学生生活で必要となる文具も販売されており、季節ごとにおすすめの商品が並びます。学生、教職員の皆さんぜひご利用ください。

2022年3月22日(火)
京都府立医科大学と
社会貢献における
包括連携協定を締結

大谷大学と京都府立医科大学は、両大学の強みを生かした社会貢献における包括協定を締結しました。本協定は、3月22日付で京都府立医科大学において調印式を行い、両大学の社会貢献における連携のあり方を定め、地域社会の発展に寄与することを目的としたものです。

主な連携事業

- 1 医療環境下における教育ならびに保育等の改善に関すること
- 2 共生的価値と歴史景観による安らぎを与える地域空間の創生に関すること
- 3 医療ならびに教育の両分野を相互に理解し貢献できる人間の育成に関すること
- 4 教職員ならびに学生の相互交流に関すること

左から 京都府立医科大学 竹中洋学長、大谷大学 木越康前学長

Topics
三重県・富山県・
愛知県との就職支援に
関する協定を締結

三重県・富山県・愛知県と就職支援に関する協定を締結しました。協定締結に伴い、該当の地域から本学に進学した学生・卒業生に対して、さらに充実した支援を充実するための意見交換が行われました。学生と地域の双方にとって今まで以上に有益な関係が構築できることが期待されます。

協定先一覧(締結順)

1	石川県	(2017年11月8日)
2	滋賀県	(2017年11月10日)
3	京都府	(2018年7月14日)
4	福井県	(2020年7月22日)
5	長野県	(2020年11月26日)
6	福岡県	(2020年11月30日)
7	岡山県	(2020年12月1日)
8	和歌山県	(2021年2月9日)
9	鹿児島県	(2021年3月19日)
10	兵庫県	(2021年3月26日)
11	新潟県	(2021年10月25日)
12	三重県	(2022年7月21日)
13	富山県	(2022年9月1日)
14	愛知県	(2022年9月9日)

University Festival 紫明祭2022

多くの笑顔や思い出が生まれる紫明祭。最高の思い出をつくろう！



冒頭挨拶

大谷大学の学生・教職員を対象としたイベントとして、11月11日(金)～13日(日)の3日間、学園祭である「紫明祭」を開催する予定です。私たち学園祭実行委員会一同、皆さまに楽しんでいただき、思い出に残るような学園祭にするため、全力で日々準備を進めております。

2022年度テーマ

今年度のテーマは「共につくろう我らの晴れ舞台！」です。昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響で、学生の活躍する場が大きく減ってしまいました。その中で、学生全員が主人公となり、この学園祭が日々の活動の成果を紹介し合える場となれば良いなと思い、このテーマに決定しました。

イベント内容

前夜祭、課外活動団体による展示企画、タレントによるトークショー、本学学生による内部音楽イベント、参加型

のカラオケイベントを企画しております。また、昨年度好評であったキッチンカー企画も行う予定です。さらに！2019年度を最後に、新型コロナウイルス感染症の影響で設置できなかったサンクンガーデン特設野外ステージを今年度は設置する予定です。お気軽にお越しください！

メッセージ

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染防止対策を万全に行い、皆さんが安心かつ安全に楽しんでもらえるよう、全力を尽くして日々準備に取り組んでおります。ぜひぜひお越しください！

紫明祭の詳細につきましては、随時、学園祭実行委員会のSNSにて発信する予定ですでご確認ください。

学園祭実行委員会 委員長
教育学部 教育学科
幼児教育コース 第2学年
よしみ なつみ
吉見 菜摘



Event Schedule

※イベント内容や日程等は変更・中止する可能性があります。

11月11日(金) 17:00-18:50	前夜祭
11月12日(土) 11:00-16:00	カラオケイベント
17:00-18:00	プロタレントイベント
11月13日(日) 11:00-14:40	内部音楽イベント
16:00-18:00	抽選会(ビンゴ大会)

学園祭実行委員会のSNSはこちら

Instagram
shimeisai



Twitter
@shimeisai_2022



※ステージの写真については、2019年以前の写真です。

2022年7月15日(金)・16日(土)
「祇園祭ごみゼロ大作戦 2022」に本学学生 約150名が参加



ごみの分別を呼びかける様子

京都の伝統行事である祇園祭は3年ぶりに山鉾巡行が執り行われ、前祭宵山期間中には、同じく3年ぶりに夜店・屋台が四条烏丸を中心に立ち並びました。「一般社団法人祇園祭ごみゼロ大作戦」が主催する、祇園祭期間中の環境問題への取り組みも、従来の規模に「戻り、リユース食器使用の推進によるごみの削減、資源ごみの分別、散乱ごみ抑制に向けた活動が行われました。本学は2015年度より「祇園祭ごみゼロ大作戦」の取り組みに協賛しています。また「環境問題と市民参加」をテーマとする授業(人間学II-9)担当教員・赤澤清孝准教授において、受講生は「祇園祭ごみゼロ大作戦」ボランティアスタッフとしての参加が必須と



ボランティアリーダーにも本学学生が積極的に参加

なっています。そして地域課題に取り組む「地域連携プロジェクト」の一つとしても展開しており、受講生以外の学生にも参加を募って全学的に活動しています。今年度は総勢150名の本学学生が、ボランティアスタッフやそのリーダーとして参加しました。当日は暑い中、十分な熱中症対策とコロナ対策を講じながら、四条通以南の西側に所在する鉾町周辺を拠点に活動しました。ボランティアリーダーを務めた生かからは「お客さんたちがごみの分別に協力的で、「ありがとう」という感謝の言葉や、「がんばって」という励ましの言葉もかけていただいたこともあり、やりがいがあった。またリーダーとして、ボランティアさんたちに気持ちよく活動してもらえよう心がけた。大変だったが、成長できたと思う。」との感想が寄せられました。



対談記事はこちら



2022年8月2日(火)
学生×教員 対談コンテンツ「OTANI TALK 2022」公開

大学Webサイト上で、学生と本学教員による対談コンテンツを公開しました。本コンテンツでは、全学部学科の教員と第1学年の学生(取材時)が、本学に入学したきっかけや、現在の学びの内容、今後の目標や将来について対談し、大谷大学の「リアル」を伝える企画となっています。教員や学生の人柄だけではなく、各学科の雰囲気や、本学の魅力である教員と学生の距離の近さを感じてもらえる対談記事となっています。

SNSでも大学の動きをチェックしよう！

大学Webサイトでも最新情報を更新中！



Instagram



otani_univ

Twitter



@otaniuniv_staff

Facebook



@otaniuniversity

YouTube



otaniuniversity

2021年度決算・2022年度予算概要

2021年度決算

2021年度決算は、公認会計士および監事の監査を経て、2022年5月19日に開催された学校法人真宗大谷学園理事会において承認されました。本学の会計は、公認会計士による監査を定期的に受けて処理しています。

また、計算書類は「学校法人会計基準」に従って、「資金収支計算書」「事業活動収支計算書」「貸借対照表」を作成しており、毎年、決算承認後、文部科学大臣に届け出ています。

資金収支計算書

資金収支計算書は、その年度に行った教育研究等の諸活動に対応する資金の動き(収入と支出)の期末を明らかにするものです。

事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、その年度の諸活動に対応する収入・支出の内容を明らかにし、大学の経営状況を示すものです。

貸借対照表

貸借対照表は、年度末における財産保有の状況を表し、財産が適正に維持管理されているかどうかを示すものです。

※2021年度決算、各計算書類の詳細は大学ホームページで確認してください。



QRコード①

2021年度事業報告

教育に関する事業

仏教教育センター

人間学「担当者会議の開催」/「まよのこ」と「事業の推進」/御命日動行における感謝者の人選」/展朝動行、仏教教育センター報告書等

学習支援室

相談数延べ1457名/リメディアル教育に主眼を置き、学習支援アドバイザーによる基礎英語・日本語の読み書きを中心としたきめ細やかな個別指導を実施/学習支援アドバイザーが担当する授業科目(英語・日本語表現)と連携等

教職支援センター

(第4学年)教員採用試験対策講習4(面接講習)/京都府・大阪府・滋賀県などの教員採用試験や講師登録に関する学内説明会(2022年9月31日現在把握分)

区分	都道府県	人数
中等科	大阪府	2名(高校国語)
	奈良県	1名(中学英語)
	富山県	1名(中学国語)
	神奈川県	1名(中学国語)
	京都府	2名
小学校	京都府	3名
	滋賀県	6名
	大阪府	1名
	和歌山県	1名
	富山県	1名
	福岡県	1名
	大分県	1名
	鳥取県	1名
横浜市	1名	
私立高等学校	-	1名

〈第3学年〉採用試験受験対策の論文セミナーや各自自治体を想定した願書記入説明会など(教員免許更新講習)6月から9月にかけて本学会場のみで必修領域2講習、選択必修領域4講習、選択領域16講習を開講。受講者数は、

2021年度事業活動収支計算書

※教育活動収支・教育活動外収支・特別収支の活動ごとの収支をあらわします。(左記は教育活動収支の内訳)

事業活動収入計……………約48億5千万円	
※主な収入	
学生生徒等納付金	約37億円
●授業料、施設設備資金、実験実習料等	
手数料	約9千万円
●入学検定料等	
経常費等補助金	約6億4千万円
●国庫補助金(授業料等減免費交付金含む)、地方公共団体補助金	

事業活動支出計……………約47億9千万円	
人件費	約25億3千万円
教育研究経費	約16億9千万円
うち、主な支出	
●奨学費…約2億7千万円	
●委託費…約4億8千万円	
●減価償却額…約5億円	
管理経費	約5億5千万円
うち、主な支出	
●広報費…約2億2千万円	
●委託費…約1億6千万円	

2022年度予算

2022年度予算は、2022年3月22日開催の学校法人真宗大谷学園理事会において当初予算が承認され、7月14日に開催された理事会において補正予算が承認されました。

本年度は、本学の第2次中期プラン「ブランドビジョン130」のスタートの年であり、その実現に向けた重点施策や中期計画が具体化されることを視野に入れた予算編成となっています。



QRコード②

事業活動収入計……………約48億2千万円	
※主な収入	
学生生徒等納付金	約37億2千万円
●授業料、施設設備資金、実験実習料等	
手数料	約1億1千万円
●入学検定料等	
経常費等補助金	約6億5千万円
●国庫補助金(授業料等減免費交付金含む)、地方公共団体補助金	

事業活動支出計……………約51億1千万円	
人件費	約26億円
教育研究経費	約18億4千万円
うち、主な支出	
●奨学費…約3億1千万円	
●委託費…約4億8千万円	
●減価償却額…5億円	
管理経費	約5億4千万円
うち、主な支出	
●広報費…約2億1千万円	
●委託費…約1億4千万円	

2022年度予算の概要

- ◆学修支援事業…授業運営・企業提携による授業実施等
- ◆教育環境の整備…慶園館教室及びサポート室のパソコン更改等
- ◆地域連携事業の推進
地域連携室「コムラボ」を中心とした、地域連携プロジェクトへの学生の参画による一層の学修支援の充実
- ◆就職支援
低学年次からのキャリア形成支援として自己理解促進のためのアセスメント「GPS- Academic」の実施や新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるWeb上での就職活動への対応・支援等
- ◆管理運営に関する事業
博綜館・講堂棟・源泉館照明のLED化、1号館教室のデジタル化や2号館及び慶園館の無線LANの強化等

延べ9755名(実人数320名)
地域連携室

取り組みを実施。2021年度新規プロジェクトである「WA(わ)のころ創生」は、大徳寺本坊の修復の様子や非公開塔頭を取材。撮影した映像は、京都市公式YouTubeチャンネル「きょうと動画情報館」にて公開/2021年4月からスタートした、京都市ふるさと納税を活用した「大学・学生と地域」のさらなる連携強化を図る取組みは121名から支援があった。

語学学習支援室

外国語勉強会(英・独・仏・韓・中)を開講。受講者延べ83名/2022年度前期より留学に出发する学生6名を対象に留学出発前並びに危機管理オリエンテーションを実施(全3回)/2022年度後期の留学希望者に、前後期各1回の留学説明会を開講

図書館の学修・教育支援環境の充実

コロナ下で閉鎖していたAVブースを10月から感染防止対策を講じたうえで再開/社会学部 教育学部、文学部歴史学科世界史コースの完成年度にあわせて卒業研究(卒業論文)の参考図書を整備したことにより、いずれの学部においても貸出冊数が増加

学生支援に関する事業

奨学金制度の充実
(高等教育の修学支援新制度)全学生の12.0%にあたる381名が受給(学生等の学びを継続するための緊急給付金)1211名の希望者全員が受給

キャリア支援

(全体)講習案内・キャリア支援案内(配付)。各種試験受験対策講習実施/第1学年「GPS- Academic」実施(受検率97.5%)

9%)/キャリア支援説明会実施/〈第2学年)年キャリアガイダンス実施/〈第3学年)対面とオンライン配信を活用したガイダンスや各種行事を実施。「GPS- Academic」を実施(受検率71.8%)。受検結果は、履歴書作成・面接対策セミナー、個別面談に活用。採用担当者との面談の業界・企業研究セミナーを実施/〈第4学年)採用担当者対面式の学内企業説明会を実施

研究に関する事業

真宗総合研究所
(特定研究)学長が研究代表者を務める「ラーニング」を活用した「仏教・真宗」教育活動の展開研究/指定研究/国際仏教研究/西藏文献研究/清沢満之研究/東京分室指定研究の5研究班が活動(研究所直轄プロジェクト)大谷大学史料室「デジタル・アーカイブ」資料室の2資料室を置き、関係資料の収集・整理を継続(一般研究)科学研究費助成事業に採択された研究(46件)、2022年度以降の科学研究費助成事業申請のための予備研究2件、計48件の研究を推進(東方仏教協会(EBS))本研究所の指定研究である国際仏教研究班の研究事業と位置付け、英文学術誌「The Eastern Buddhist」誌の出版、設立100周年記念事業を遂行

社会への開放

生涯学習講座
前期2講座(受講者108名)、後期3講座(受講者99名)をオンラインで実施/外部団体との提携講座は、近鉄文化サロンとの共催講座(座)1講座、(公財)大学コンソーシアム京都の京カレッジ大学リレー講座(座)1講座、京都市生涯学習センターとの連携講座に1講座を提供。

博物館

展示実績は次のとおり。〈春季企画展)大谷大学のあゆみ 歴代学長の肖像(夏季企画展) 皇中光亨 東本願寺御休息所襷絵完成記念 春への憧憬展(秋季企画展) 大谷大学博物館の逸品 重要文化財「後白河院庁下文」(実習生展併催)〈冬季企画展)京都寺社参詣(特別展)11月/12月(東本願寺)京都御理 開館日数は155日/入館者数は58133名

中期的な計画及び事業計画の進捗

グランドデザインの推進
第2次中期プラン「グランドビジョン130(2022-2031)」を開学120周年記念式典において公表[QRコード①]
※詳細は大学Webサイト「『事業報告書』参照」[QRコード②]



QRコード②

人事情報

依頼退職

河崎 由佳(教育研究支援部)

新採用

教育職員
鄭 祐宗(准教授/国際学部)
2022年9月1日付

卒業生

榎山 遊(実践学舎)
2022年4月1日付

私たちの先生

Our Teacher

文学部文学科の安藤先生について、ゼミ生のみなさんに先生の人柄やゼミの内容を紹介してもらいました。

多角的で柔軟な考えを大切にし、
新たな気づきを与えてくれます。

ゼミでは、日本で小説という新しいジャンルが立ち上がった明治期の文学を中心に丹念に調査し、読みこみ、学んでいます。明治は、江戸時代まで続いてきたものを否応なくリセットし、考え方を客観視・相対化しなければならなかった時代。文学においても激変していた時代について、さまざまな資料を調べながら、現在の私たちの言語感覚へのつながりを学んでいます。

ゼミではあえて今まで読んでこなかった小説を課題対象とされることが多く、新たな小説との出会いがあります。安藤先生から「普段読まない小説もあらためて読んでみるとつながっていることがわかる」ということを指導していただき、先入観が邪魔をして手をつけていなかったジャンルの小説に触れることで、新たな気づきを得られるようになりました。



安藤先生は質問しやすく、多角的な面からアドバイスをしてくれるので、視野を広げてもらえます。卒業論文に関しても小説の描写を読み取るタイプや作者そのものを見ていくタイプなどありますが、さまざまな研究の切り口を受け入れてもらえ、何を聞いても納得する答えが返ってくる安心感があります。やりたいことがある人はもちろん、まだ漠然としている人も気づきを与えてもらえ、成長でき、自分の考えを確立できるゼミです。



Profile

専門/国文学(近代文学)
1977年広島県生まれ。神戸大学大学院文化科学研究科文化構造専攻博士課程修了。博士(学術)。2016年に大谷大学文学部着任。

Message for Students

ゼミでは日本の近代文学、特に小説という新しいジャンルが立ち上がった明治時代以降の小説を対象にしています。私自身の卒業論文の研究テーマは泉鏡花でしたが、当時の流行に乗らずに独自の路線を歩み小説というものの持つ力を存分に生かすことを考えていました。それが研究につながっていきます。そして自分の興味のあるところを突き詰めて、勇気を持って表現する。そうすると自分では思っていなかったような評価が得られることがあります。自分の意見を表に出すことを恐れずにぜひ挑戦してみてください。

文学部 文学科 講師

安藤 香苗

中村 南海
文学部 文学科
第4学年

高橋 あみ
文学部 文学科
第4学年

永山 啓太
文学部 文学科
第3学年

文学部 文学科の
私たちを紹介しました！



「地区保護者懇談会」とは、教育後援会役員ならびに大谷大学長のほか、学生支援部職員が当該地域に赴き、大学の現状をご報告します。また、当日は学生の成績表を配付し、修学状況等についての個別相談に応じます。

東北・関東地区保護者懇談会・
大谷大学フェア(東北)開催報告

2022年7月16日(土)に関東地区(東京)において「地区別保護者懇談会」を、7月17日(日)に東北地区(仙台)において「大谷大学フェア(東北)」を開催いたしました。

懇談会では、教育後援会役員および学長の挨拶に続き、学生支援部職員から履修状況の確認方法や、奨学金制度など学生生活のサポート体制について、また、近年の就職状況の傾向などの説明を行い、保護者からの支援も必要であることが呼びかけられました。

その後の個別相談会では、学生個別のデータを基に、卒業単位の修得状況や、学生生活上の不安点、リターン就職についてなど、学生支援部職員が一ひとりの相談に応じました。

また、「大谷大学フェア(東北)」では、保護者懇談会とあわせて公開シンポジウムや進学個別相談会も実施され、東北地区の同窓生をはじめ、一般の方々にも来場いただきました。今後の開催につきましては次のおりです。該当地区の保護者の皆さまには、ぜひご出席いただきますようお願い申し上げます。

教育後援会だより

東海地区保護者懇談会	
名古屋会場	2022年10月15日(土) 真宗大谷派名古屋別院(東別院)(名古屋市内) ※大谷大学フェア(東海)同時開催
浜松会場	2022年10月16日(日) アクトシティ浜松コンgresセンター(浜松市)



保護者懇談会の様子(東京会場) 個別相談の様子(仙台会場)

「2000円昼定食」 「1000円朝食」実施!

教育後援会では、新型コロナウイルスの影響を受けている学生への緊急支援として、「2000円昼定食(教育後援会支援定食)」を実施しています。この「2000円昼定食」は、通常4500円の昼定食が2000円で提供されるよう補助を行い、2022年前期には1日平均230食の利用がありました。

また、生活のリズムを整え、バランスの取れた食生活を心がけてもらうため、今年度も「1000円朝食」を4月と9月の授業開始時および7月の前期試験期間中に実施しました。次回は1月の後期試験期間中に実施する予定です。保護者の方からも学生にぜひ利用を勧めてください。

教育後援会

大谷大学教育後援会は、全在学生の保証人が会員となって組織され、大谷大学の教育・研究の発展と、学生生活環境の整備・改善に支援を行っています。また、会員相互ならびに会員と大学との交流を深めることも目的に、各種の活動を行っています。毎年、役員会・評議員会を開催し、さまざまな事業を企画・推進しています。

大谷大学 校友活動 行事一覧 検索

教育振興資金(募金)について

2022年2月1日から2022年6月30日までの間、教育振興資金へご寄付いただいた方々のご芳名は左記のとおりです。募金活動にご協力いただき、ありがとうございます。ご寄付いただきました資金は、教育・研究の充実を図るための環境整備に充てられています。今後も引き続き、募金を受けつけておりますので、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

税法上の優遇措置について

本学は文部科学大臣から、特定公益増進法人の証明所得控除制度、ならびに税額控除にかかる証明(税額控除制度)を受けております。寄付者(個人)の選択により、どちらか一方の税法上の優遇措置を受けることができます。確定申告の際、領収書を添えて申告をしてください。

教育振興資金寄付者(敬称略)

【個人】

浅田 純 (長崎県)	鈴木 直志 (千葉県)	日坂 進 (兵庫県)
安達和正 (岡山県)	鈴木 憲彰 (岐阜県)	本多 佐保美 (千葉県)
池田 誠 (岡山県)	廣橋 賢淳 (岐阜県)	松田 憲周 (高知県)
大須賀光俊 (静岡県)	力石 智 (愛媛県)	松田 康徳 (京都市)
岡村 隆 (山口県)	筒井 浩也 (滋賀県)	三保谷 順 (愛知県)
織田 賢智 (愛知県)	長藤 仁美 (大阪府)	八木 都喜 (京都市)
河村 淳 (愛知県)	中村 美里 (京都市)	横山 一真 (奈良県)
木野 勝之 (京都市)	難波 明則 (大阪府)	吉川 彰 (兵庫県)
金 京子 (大阪府)	林 晃雄 (愛知県)	匿名16件

【法人・団体】

円林寺	末廣 法宗 (大分県)
徳念寺	代表役員 本庄 祐正 (長崎県)
願成寺	代表役員 大岡 祥宏 (青森県)
西光寺	橋本 唯彰 (茨城県)
照厳寺	久末 良純 (福井県)
善教寺	(長崎県)
東光寺	英 信哉 (愛知県)
東光寺	英 亮 (愛知県)
有限会社 石間企画事務所	代表取締役 石間 裕 (東京都)
株式会社 原了那	代表取締役 原 悟 (京都市)
株式会社フラットエージェンシー	代表取締役 吉田 創一 (京都市)
匿名3件	

◆ 件数 56件
◆ 寄付金総額 12,160,000円

お問い合わせ先 教育振興資金事務局(大谷大学総務部 校友センター内) TEL: 075-411-8124 FAX: 075-411-8157 E-mail: kouyu@sec.tanai.ac.jp



子どもの遊びを再考する

鴨川の土手を歩くのが日課である。公園で遊んでいる親子が少なくなつた気がする。子どもたちの楽しそうな声が聞こえると保育園の集団であつたりする。保健所で子どもの発達相談をしているが、新型コロナウイルス感染症拡大から、子どもと家にいることが多い。親のストレスが増えたと聞く。法人などの調査でも多くの保護者が子どもの外遊びが減っていると感じていた。外遊びは子どもの発達を支える。公園の遊具や砂遊び、かけっこやかくれんぼなど子どもは五感をフルに使って遊ぶ。虫取りや落ち葉拾い、雪遊びなどその季節でしか体験できない遊びもある。子どもにとっては、家の前の路地も広く長い。子どもは遊びを創り遊びを発展させる。近所の公園が未知の世界になりダイナミックに冒険が展開される。このような遊びは子どもの運動面だけでなく社会性を養い情緒を豊かにする。子どもの遊びを守ることが大人の責務である。



教育学部 教育学科
初等教育コース 教授
井上 和久
専門分野／特別支援教育

た。モバイル機器の普及により私たちは高い利便性を得ることができるようになり生活の中でさまざまな恩恵を得ているが、一方で親と子の遊びへの影響が危惧される。子どもは親との遊びにおいて、親とふれあひ肌のぬくもりを感じ、互いの表情やしぐさ、声色などから、互いの気持ちを読み取ったり楽しさを共有したりする。遊びの中で子どもは親を求め、親はそれに応えようと関わることにより子どもとの愛着が形成されていく。この愛着形成は子どもへの意欲や行動の基盤になるとともに、後の対人関係や行動を一定規定することになるといわれている。幼児期、子どもと一緒に遊ぶ、絵本を読んであげるなど、親子遊びの大切さは、情報機器が発展した現代だからこそ、よりその大切さが問われている。

編集後記

今回は大谷大学のキャリアサポートについて取りあげました。将来への不安や葛藤はだれしもが持っているものです。しかし、その不安をだれかと共有すると、視野が広がり、自分の可能性を発見できることが、本誌の取材の中で見えてきました。不安を打ち明けることは勇気がいることですが、その第一歩を踏み出すためにもキャリアセンターがあります。ぜひ活用してください。

(編集担当)

時代を照らす仏教のことば



吾人の世に在るや、
決して

単孤独存するものにあらず、
常に外^{がいた}他の人物と

相待ちて存立す。

清沢満之『清沢満之全集』第6巻9頁